

令和6年3月那珂川市議会定例会
代表質問通告書

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
1	清流自民	(1) 市長5期目への立候補について	① 市長任期を数か月後に控え、その出处・進退は。
		(2) 「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」について	① 昨年7月の大雨を受け、福岡県に那珂川市としての復旧策を提言できないか。 ② 消防団員の処遇改善はもとより「魅力ある消防団」となるための調査・研究はできないか。
		(3) 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境をつくる」について	① 生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターの増員を図るべきではないか。
		(4) 「安心して出産、子育てできるまちをつくる」について	① 認定こども園等に対する施設運営に要する経費の一部補助の内容は。 ② 障がい児保育における加配・加算の充実を図れないか。
		(5) 「市民一人ひとりが生涯学習やスポーツに参加しやすい環境をつくる」について	① 地域学校協働活動推進員の配置によりこれまでとどのように変わるのか。
		(6) 「安全で快適な生活環境をつくる」について	① 一般国道385号4車線化に伴う沿線沿いの都市計画の規制緩和を行うべきでは。 ② 事業者向け浄化槽整備事業の内容と箇所数は。
		(7) 「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり」について	① 五ヶ山水源記念公園等の指定管理の範囲及び地域おこし協力隊員が担う湖面での業務は住民の安全性を確保できるのか。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
2	公明党	(1)「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」について	<p>① 市内のため池について、施政方針には二つのため池の改修と廃止が示されたが、頻発する自然災害下、他の防災重点ため池についても早期な安全性の確保が必要だが、市はどのように進めていくのか。</p> <p>② ため池廃止工事における生態系への配慮についての考えは。</p> <p>③ 災害発生時に避難所としても利用される体育館への空調設備の設置について、費用の一部に学校施設環境改善交付金が活用でき、その交付金は設置費用の2分の1が令和7年度まで利用できる。交付金を利用した早期設置について、市の考えは。</p>
		(2)「安心して出産、子育てできるまちをつくる」について	<p>①「私立保育所に加え、認定こども園や小規模保育施設に対し、施設運営の経費の一部を補助し、保育環境の充実に取り組む」とあるが、補助の対象となる施設の数と利用できる運営経費の内容は。また、それにより新たに可能となる保育サービスの内容は。</p>
		(3)「環境に配慮した地域社会をつくる」について	<p>① 九州大学大学院芸術工学研究院と連携協定を締結するとあるが、締結後の取組内容は。</p>
		(4) 市の木「ヤマモモ」について	<p>① 市の木であるヤマモモは、福岡県の地域産業資源として唯一本市が指定されており、商工会は市内多数の店舗と商品開発し、産学官の連携も図っている。市は、このヤマモモについて、今後支援などの計画はあるか。</p> <p>② ホームページに掲載する予定はあるか。</p>
		(5) 市の歴史、文化の継承について	<p>① 総合計画に歴史遺産の保存・活用、市の歴史・文化を市民共有の財産として継承することとあるが、歴史遺産の保存についてどのように実施していくのか。</p> <p>② 本市で生まれ育つ子どもたちの郷土への愛着と誇りの醸成を図るための施策はあるか。</p>
		(6) 就学前の子どもや保護者への支援について	<p>① 総合計画に「幼児教育に関しては、柔軟で質の高い幼児教育の充実に図る」とある。教育サポートセンターは、小中学校の不登校対策の支援拠点として設置され、児童生徒、保護者支援や学校支援を実施しているが、福祉や医療の視点も必要とあった。次年度、新たに「こども家庭センター」の設置もあり、今後、就学前の子どもたちに対し、充実した教育や保育の提供、保護者への積極的なサポートが重要と考えるが、市の考えと具体的施策について尋ねる。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	みらいえ	(1) 組織の見直しについて	① スポーツ事業と総合運動公園整備の統合に伴うスポーツ課の新設とあるが、その所掌事務は。
		(2) 「支え合い、安心して暮らせるまちづくり」について	<p>① 「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士資格取得を目指した「市民防災リーダー養成講座」の実施にあたり、各行政区における活動をさらに支援すべきと考えるが見解は。 ・消防団員が減少傾向にあり、報酬等の引き上げや処遇改善を図り、団員確保に努めるとあるが、具体的にどのように変わるのか。 ・団員確保に有効である消防団協力事業所表示制度の現在の周知、取組状況は。また、入札制度に反映されているのか。 <p>② 「地域が支え合う社会、誰もがともに暮らせる社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人が自立した生活を送ることができるよう、これまでと同様に就労支援などにより社会参加を促進するとあるが、具体的な取組内容は。
		(3) 「誰もが学び、育むまちづくり」について	<p>① 「多様な市民の人権を尊重した社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動における女性の参画について、補助要件の対象の見直しを図るとあるが、具体的な見直しの内容は。 <p>② 「安心して出産、子育てできるまちをつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケアサービスに、新たに宿泊型等のサービスを追加するとあるが、具体的なサービスの内容は。 <p>③ 「市民一人ひとりが生涯学習やスポーツに参加しやすい環境をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那珂川市総合運動公園の共用開始の時期や進捗状況に変化はないのか。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	みらいえ	(4)「自然と調和した快適に暮らせるまちづくり」について	<p>①「自然と調和した快適な都市基盤をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五郎丸地区の新市街地創出について、組合施行による土地区画整理事業の実現に向けた、現在の具体的な取組内容は。 <p>②「地域を結ぶ安全・便利な道路ネットワークをつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県事業である一般国道385号整備の南畑バイパス事業について、車両の安全だけでなく、歩行者・自転車等の安全安心のための歩道整備を一層加速すべきと考え、県との連携を求めるが見解は。 <p>③「安全で快適な生活環境をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災に強いまちづくりのため、下水道管耐震化の推進を進めるべきと考えるが見解は。 ・雨水浸水に対応するため、地下貯留槽の設置等に関する考え方は。
		(5)「自然の豊かさを感じるまちづくり」について	<p>①「環境に配慮した地域社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティ推進において、九州大学大学院芸術工学研究院と連携協定を締結する予定とのことだが、具体的な連携内容と今後の取組内容は。
		(6)「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり」について	<p>①「地域の経済・雇用を支える産業を創出・育成する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊を新たに任用し、カヤックを中心とした五ヶ山ダム湖面活用等の取組を強化するとあるが、市の事業として取り組むのか。 ・今回任用する地域おこし協力隊は、五ヶ山クロスを含む水源地の観光に特化した活動のみを行うのか。 <p>②「歴史・文化・芸術を通じた多彩な交流を広げる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車導入について、現在の進捗状況は。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
4	日本共産党	(1) 災害対策について	<p>① 能登半島地震では、地域防災計画が想定とは大きな乖離があった。本市の想定の根拠を尋ねる。また、計画の見直しをする自治体も出てきているが、本市においてその必要は。避難所の見直しについても尋ねる。</p> <p>② 学校体育館へのエアコンと断熱化が急がれるのでは。</p>
		(2) 国民健康保険税について	<p>① 低所得者への配慮について</p> <p>② 子どもの均等割について</p> <p>③ 標準保険料率に合わせるために3段階に分けて引き上げを行ってきた、今回は最後の3段階めとなるが、これ以上の引き上げを行うべきではないし、引き下げの検討をするべきと考えるが、見解を。</p>
		(3) 子どもの医療費助成について	<p>① 全国では7割の自治体、筑紫地区5市でも春日市と太宰府市が18歳まで拡大している。本市も取り組むべきでは。</p>
		(4) 生活保護制度について	<p>① 制度を必要とする貧困状況にある人の8割が利用できていない。申請のハードルとなっている扶養照会は、義務ではないため廃止を求める。法律にも明記されない扶養照会を続ける目的は何か。</p>
		(5) グリーンピアなかがわ跡地について	<p>① いまだに閉園を惜しむ声が聞かれる。25ヘクタール9,700万円の資産価値に加えて、みどりの森公園27ヘクタール、合わせて52ヘクタールを市長の任期中に塩づけにしてしまったことについて見解を。</p>
		(6) 活力あるまちづくり促進事業について	<p>① 事業開始から5年をもって終了の方針が出た節目に尋ねる。これまでの事業の成果と今後の活動について。</p>